

2014年12月1日発行

# 縦横夢人

2014年 冬6号



2014年10月25日 編集会議にて（新しき編集メンバー記念撮影「ごこない笑顔だよ」の図）

## 兵庫頸髄損傷者連絡会

ホームページ：<http://hkeison.net/>

E-mail：[hkeison@yahoo.co.jp](mailto:hkeison@yahoo.co.jp)

## 機関誌についてのお詫びと発行再開宣言

宮野 秀樹

2012年冬5号を最後に2年と9か月の間、兵庫頸髄損傷者連絡会・機関誌「縦横夢人」の発行を止めてしまったことをお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

本来は、会員をはじめとする頸髄損傷者への情報提供や会活動に対する理解を得るための情報発信が機関誌発行の目的でしたが、私の怠慢により、機関誌発行に携わる人員不足を言い訳に、長きに渡り機関誌発行を止めてしまいました。「なんとか機関誌を発行せねば…」と焦れば焦るほど、日だけがどんどん過ぎていき、気がついたら2年9か月が経ってしまったという情けない話。本当にこれはお詫びのしようもございません。

ただ、ようやくこの危機的状況から脱することができました。…といっても、私が抜け出したわけではありません。私の不甲斐ない状況を見かねた兵庫頸損連絡会の若きメンバーが、「宮野には任せてられない！」と立ち上がってくれたのです。

ここに機関誌発行再開を宣言いたします！（って私が偉そうに言える立場ではありませんが）

「縦横夢人」が再び動き出します。若きメンバーが中心となって編集体制を再構築してくれています。この「No.006」を皮切りに、多くの仲間に向けて熱い思いを届けてくれることになるでしょう。これからの縦横夢人にご期待ください。よろしく願いいたします。

## も く じ

活動報告『秋の大バーベキュー大会』（中川淳子、島本卓、山本智章、学生ボランティア）	2
会員報告「第41回国際福祉機器展 H.C.R 2014 報告」（土田浩敬）	11
会員報告「人工呼吸器使用者情報交換から見えてきたこと」（米田進一）	12
会員報告「頸損チンコンひとり股旅」（宮野秀樹）	13
行事のお知らせ	21
入会案内	22



## 活動報告

## 秋の大バ～ベキュー～大会報告



9/21(日)大蔵海岸バーベキューサイトで大バーベキュー大会を開催しました。数日前の台風がウソのような晴天に恵まれました。参加者は総勢114名が集まり、美味しいお肉を食べて、おしゃべりをして楽しい交流会となりました。年々、参加人数が増えてきていることが嬉しく感じました。最後に明石海峡大橋を背景に写真を撮り無事バーベキュー大会が終わりました。今回も参加された頸損者と学生ボランティアさん、初めて参加された頸損者に感想を書いていただいていますのでご覧ください。

(山本 智章)

## バーベキュー大会に参加して

中川 淳子

私が今回のバーベキュー大会のことを知ったのは、友人に誘われて行った6月の総会(兵庫大会)の時でした。その時が頸損連絡会のイベント初参加でした。

私は今施設に入所中で、同じ様な障害を持つ方も少なく、ちょっとした悩みを相談したり、情報交換をしたりする事が難しい状況です。私は外との繋がりを求めています。総会後のおもてなし観光の最後に「9月にはバーベキューがあるから是非参加してください」と誘って頂き、繋がりが出来ることをとても嬉しく思いました。

しかし9月まで待ちきれなかった私は、7月にしあわせの村で開かれた「宿泊体験」にも参加することにしました。その時、「サポートがないと出来ないことが色々あるのですが、ついて来てもらえそうな介助者がいません」という無茶なお願いを、「サポートしますので是非」と言って受け入れてくださいました。

8月になると、宿泊体験でお世話になった方々から「もうすぐバーベキューなので是非」と誘って頂き、「今度は食べるだけだから」と堂々と(笑)。再度「介助者なし参加」をすることになりました。天気予報では、当日は怪しい雲行き…。でも、今年に入ってから「晴れ女」に生まれ変わった私は、きっと晴れると信じることにしました。

そして当日。期待通りの晴天。しかも9月と言うのに暑い。駅前にはフラダンスを踊る人の姿。そして田んぼの中で暮らしている私は「海や～!」と、完全に真夏のテンションに。しかし一人だった私は、気持ちを落ち着け受付へ。そこで宿泊体験でお世話になった方々、総会の際のボランティアの学生さん達と再会する事ができました。やはり知っている方がいると安心します。その後、バーベキューサイトに移動。班のメンバーは、お一人が宿泊体験で一緒だった方。

でも前回はほとんどお話しできてなく、あとは初めての方ばかりでした。でも、こうして新しい出会いがあるのも外に出ているからですね。美味しいお肉を食べながら色々とお話をしました。仕事をされている方もいて、いつも自分が本当に小さな世界の中にいる事を、改めて実感しました。



班メンバーと

今は「自分で出来ることは、人にやってもらうのではなく自分でやろう」という事に精一杯です。「自分が人に何かをする」事が出来ている人はキラキラしていますね。仕事とまではいなくても、ささやかでも、いつか何か出来たらなと思いま

した。頸損連絡会のイベントは、いつも私に刺激をあたえてくれます。

私よりも重度の方もたくさんいらっしゃいます。でも、皆さんとても充実した日々を送られているように感じます。私は進行性の病気で、これから先、今出来ていることも出来なくなっていくと思われま。もちろん不安はあります。でも皆さんを見てみると、気持ちの持ち方次第なのかな、と感じるようになりました。重い障害を持っていても、「人生充実させて当たり前」の世界がいつもそこにありますね。

実は元々、出不精の私。健常者の頃は、休みの日は一日中家で“まったり”していました。でも、今それをしてしていると、この小さな世界だけしか知らない様になってしまう。外に出れば、ハプニングも色々あります。でも、それも含めて楽しもうと思っています。たくさんの初体験をしたり、新しい出会いで世界が広がったりという機会は、大人になると少なくなっていく。それをたくさん体験できるのは、中途障害者の特権なのかも知れません。私はこの特権を、これからも満喫していきたいと思っています。

## 兵庫頸髄損傷者連絡会バーベキュー大会

島本 卓

9月21日（日）に、明石市の大蔵海岸バーベキューサイト「ブリッジテラス大蔵」にて、兵庫頸髄損傷者連絡会が主催のバーベキュー大会を行いました。

私自身、思い返せば4年前に初めて参加させていただきました。外に出るのも不安だった私が、今では一人で外出することも増えて不安から自信に変わりました。何よりも仲間と出会い、仲間という時間がとても楽しいと思えるようになったことです。頸損の先輩に声を掛けてもらい、一般、学生ボランティアさんのサポートを受けることができ沢山の経験をさせていただきました。兵庫頸髄損傷者連絡会は、私にとって大きな出会いだったことに間違いはありません。今まで経験出

来たことを、まだ出会えていない仲間に伝えていきたいと思っています。

今年度からは、参加する立場から実行委員の一人として活動させていただくことになりました。準備の時から、この機会に外に出たい、仲間に出たいと思っておられる初参加の当事者の方に来てもらいたい。学生ボランティアさんには、当事者さんとの交流を通じて、日常生活の様子や体験、外出時の工夫など普段見たり聞いたりできないことを知ってもらえる場にしたい思いで取り組んできました。

当日は、皆の思いが通じて天気は快晴の中でのバーベキュー大会になりました。肉を焼く前に、私は太陽に焼かれていましたけどね。ミディアム

レアぐらいだったと思いますが、開始予定時間を30分も遅れてのスタートだったんです。

気持ちを切り替えてからの海をバックに皆で乾杯。各テーブルを見渡すと、こんなに大勢でバーベキューができることが、とても嬉しかったです。沢山の支援してくださる方との繋がりを感じています。学生ボランティアさんの声掛けや、サポートに参加当事者の方から、今日を楽しみにし



ていた、来てよかったと言っていた時は本当に嬉しかったです。参加者一人ひとりの笑顔に元気をもらうことができ、不安を自信へと背中を押してくださる仲間が今年も大蔵海岸に集まってくださったことを感謝しております。ありがとうございました。当日は天気にも恵まれ、過去最多114人の方が参加してくださいました。学生ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



## 3年ぶりのBBQ大会

山本 智章

今年のBBQ大会は足に血栓（血のかたまり）ができてから初めての参加となります。今まで頸損連の活動に“どのタイミングで参加すればいいの？”不安になっていた私に土田さんから「BBQ大会に参加しませんか」とお誘いの連絡がありました。さっそく事業所に連絡を取り介助者の調整をして頂いてBBQ大会に参加することを決めました。久しぶりの活動参加と頸損連の皆さんに会えることで楽しみと緊張の2つの気持ちでいっぱいでした。

当日、台風の影響で雨が心配されていましたが、予報が外れ絶好のBBQ日和になりました。いざ大蔵海岸へJRで明石駅から朝霧駅に向かいました。駅に着くと歩道橋の入り口や歩道橋から大蔵海岸に繋がっているエレベーター前に学生ボランティアさんの姿があり“もうすぐ始まる”と思うと緊張が強くなってきました。集合場所では、学生ボランティアさんや車椅子の方たちの多さにびっくりしました。こんなに人が集まるBBQ大会に“すごい”の一言でした。それぞれ各テーブルに別れ自己紹介を済ませて坂上さんの乾杯の音頭でBBQ大会が始まりました。やっぱり外で飲む最初の一口はとても美味しかったです。沢山のひとと話しをしていると緊張感が無くなり楽しくなってきました。

色んな話の中で、ある地域でボランティアコーディネーターをされている方の話が興味深かったです。その方は、障がいのある方から依頼を受けてボランティアさんを紹介されているようですが、依頼の中には“病院へ通院に行きたい”や“旅行に行きたい”など人それぞれだそうです。この二つの依頼を比べると前者はボランティアさんが見つかるそうですが、後者は見つかりにくいそうです。その理由はボランティアさんが“何かあったらどうしよう”と不安になってしまうからだそうです。通院や外出だけでも不安なことは沢山あるのに旅行なんて難しく考えてしまうはずで。もっと依頼者とボランティアさんが会う機会を増やして、外出したり何度も話し合いをしたりとお互いのことが分かれば旅行も可能になるのではと個人的に思いました。

今回、3年ぶりにBBQ大会に参加して、学生ボランティアさんの多さにびっくりしました。また、お肉や野菜を焼いたりお皿や割り箸をテーブルに準備したり、私たちと積極的に会話をされている学生ボランティアさんの行動が印象的でした。頸損連の皆さんは、私に温かく接してくれたことがとても嬉しかったです。最後に“楽しい話、真面目な話、仲間の温かさ”など色んなことがあり充実した時間を過ごせて良かったです。

## バーベキュー大会に参加して—大学生のみなさんの感想—

先日は BBQ に参加させていただきありがとうございました。BBQ を通してたくさんの方とお話することができ、良い経験になりました。大学では実際に頸髄損傷の方のお話を聞く機会がないので、BBQ で色々質問することができて良かったです。来年は病院実習中なので参加できるか分かりませんが、また何かボランティアが必要なきはぜひ参加したいです。ありがとうございました。

神戸学院大学 作業療法 3 回生 Y. T

楽しい時間をありがとうございました。僕たちも色々な方々とお話しして十分に楽しむことができよかったです。また来年の BBQ にもぜひ参加させていただきたいです。他のイベントにも是非、参加させてください。本当に楽しい 1 日ありがとうございました。

神戸学院大学 理学療法 3 回生 I. K

バーベキューの感想は、「初めて参加した人と仲良くなれたこと」です。なぜなら、違う大学の人やこのイベントに始めて参加した人と話ができ嬉しかったからです。

神戸学院大学 社会リハ 3 回生 N. T

はじめは、どう接したらいいのか分からなかったけど、食事という活動を通して当事者さんとたくさん話せたり、他学校の大学生との交流もできてよかったです。

神戸学院大学 作業療法 3 回生 K. M

たくさんの方が来ておられて、グループでいろんなお話が聞けてよかったです。他の学生との繋がりもあり、貴重な体験ができたので楽しかったです。これからも機会があれば、参加させていただきたいです。

神戸学院大学 作業療法 3 回生 M. A

BBQ に参加させていただきありがとうございました。BBQ は思っていた以上に楽しかったです。初めて関わることができ勉強になりました。僕は重度の障害を持っている方のヘルパーをしているのですが、その時に行う食事介助とはまた違う難しさを感じました。また、食事介助だけではなくお話をさせてもらったり、貴重な時間を過ごすことが出来ました。来年は実習が始まり参加することが出来ないかもしれませんが、もし時間があいて、また BBQ を開くというのでしたらぜひ参加したいと考えています。本当にありがとうございました。

神戸学院大学 社会リハ 2 回生 H. M

今回、このようなボランティアにはじめて参加しました。はじめは緊張してしまい積極的に行動することができませんでしたが、慣れてくるといろいろな方とお話できました。自分の将来つきたい職業についてきいたり、たわいもない会話でも明るくお話ししてくださり楽しいボランティアでもあり、とてもよい経験になりました。また、様々な分野の勉強をしている学生の先輩などとも交流ができたことや、専門職についておられる方々の実践的なお話も直接きけたので勉強になりました。次回も是非参加したいと思いました。

神戸学院大学 社会リハ 2 回生 Y. M

今回のBBQに参加させていただいて、私は、初めての参加で初めてお会いする方達ばかりでどう接したらいいのかなど不安な気持ちがありました。しかし、他大学の学生の方達はとても明るく、頸損連の方達も肉や野菜を焼いてもっていくと喜んでくれました。電動車いすを上手に乗りこなせていることに感動しました。普段関わりがない方達と交流させていただいて、自分自身もっと勉強して身体の不自由な方達がもっと暮しやすい生活を送れるようになど、人の役に立てる人になりたいと感じました。

甲南女子大学 2回生 W. Y

今回初めて参加させていただきましたが、ボランティアというよりも自分もとても楽しく過ごさせてくださいました。ありがとうございました。地元がおなじ方がいて、話が盛り上がったことは自分にとって、嬉しかった思い出のひとつです。また、車いすでの様々な工夫を見せていただき、色々な工夫の仕方があるのだな、ととても近くで感じました。今回だけでなく、これからもこのような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいです。

甲南女子大学 2回生 M. O

今回のボランティアでは、エレベーター下の介助とBBQの食事介助などをさせていただきました。頸髄損傷された方々だけでなく、付き添いの方や、甲南女子大学以外のボランティアの方々ともたくさんお話することができました。訪問看護をされている看護師の方や、作業療法士の方、その他医療系の学科の学生などとお話し視野が広がったと思います。参加させていただき、ありがとうございました。

甲南女子大学 2回生 S. M

私は去年もBBQ大会に参加させていただきました。今年は去年よりも多くの方と話すことができ、楽しかったです。また参加させていただきたいです。

甲南女子大学 2回生 A. Y

今回は2回目の参加でした。学校ではなかなか聞けない話を聞かせていただき、とても貴重な経験をさせて頂きました。BBQもすごく楽しかったです。来年も参加したいと思います。

甲南女子大学 2回生 R. A

今回、何度目かのボランティア参加をさせていただき、何度かお話したことがある方が何人かいらっしやっただので、いつにも増して楽しくボランティアに参加することができました。多くの方とお話させていただき、皆さんとても明るくて、もしかしたら自分よりも活動的なのではと驚くこともありました。私たち学生に何でも聞き、触れてもいいと仰ってくださる方達ばかりで、もっと自分たちも積極的に勉強して学ばせていただこうと強く思いました。今3回生なので今後のボランティアにも参加できるかどうか分かりませんが、少しでも時間が合えば今後も参加していきたいです。

甲南女子大学 3回生 H. U

私が唯一毎年、参加させていただいているボランティアで、毎年楽しく参加させていただいています。今年、嬉しかったのが顔を覚えられたことと、去年、話を聞いた空を飛びたいと言っていた方が機械の作成に成功したという話を聞いたのがとても嬉しかったです。来年は、参加できるかわからないですが、なるべく参加したいと思います。

甲南女子大学 3回生 N. K

先日のボランティアは初参加でしたが、たくさんの方が参加されておりとても楽しかったです。頸髄損傷の方のみでなくヘルパーさんや他大学の学生の方の話も聞くことができたことで、視野が広がり、今後につながる良い経験となりました。ありがとうございました。

甲南女子大学 3回生 H. K

私は、このようなボランティアに初めて参加させてもらいました。皆さん障害のことで卑屈になったりせず、驚くべき趣味を持っていたり、気さくで、いろんな場面で私たちが助けてもらったりしました。お手伝いというよりも私自身も楽しませてもらい、参加して良かったです。また機会がありましたら、ボランティアに参加したいと思います。

甲南女子大学 3回生 Y. N

先日は、秋の大バーベキュー大会のボランティアに参加させていただき、頸髄損傷の方々との交流の機会を設けていただき、ありがとうございました。今回のボランティア活動に参加して、頸髄損傷の方との交流ができただけでなく、そのほかの学生ボランティアや、一般のボランティアの方とも交流を深めることができましたと思います。

ボランティア活動の中で、私が参加される方々の誘導係を務めさせていただいたことが驚きました。このような係につくことが初めてだったので、うまくできるかという不安もありました。しかし、実際に参加される方の誘導をし、お話をさせていただくことで緊張もとれたし、参加者様ともいい交流が取れたと思います。実際にバーベキューをしているときに、食事をしているときの工夫が見られたり、日常生活で困っていることについてのお話を聞かせていただいたりしました。その工夫や困っていることについて、将来作業療法士になった時にどうアプローチしていくか、また、私自身の周りに頸髄損傷の方がいらっしゃったときにどう対応すればいいかという勉強にもなりました。

また、他のボランティアの方から頸髄損傷の方だけではなくその他の障害者についての話も聞かせていただきました。その話には障害者本人と看護師とボランティアの3人が出てきましたが、もし作業療法士という立場があったなら自分ははどうしていただろうか、障害者の家族という立場だったら自分ははどうしていただろうかと、様々な角度から話の内容を聞いてみたいと興味を持ちました。頸髄損傷の方の話聞く機会が中々ないため、もっといろいろな話をお聞きしたかったのですが、時間制限があり準備や後片付けもあるため、話を聞くことができたのもほんの少しのように感じました。準備や片付けなども含め、この場で経験したことは私にとって大きなものになったと思います。機会があれば、またこのようなボランティアに参加してみたいと強く感じました。このたびは貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

兵庫医療大学 作業療法学科 4回生 K. A

今回のバーベキューのボランティアに参加して僕は頸髄損傷の方と食事をする機会を得ることができ、どのように実際食事を行っているかを学ぶことができました。さらに参加した方々と多くの会話を行うことができ、実際の臨床の場の話聞くことができたり、開業されている方の話を聞くことができたりしました。参加者のなかには多くの学生もおり、同じ学年で違う学校の学生もいたのでその人達と話をすることができお互いの勉強の状況を交換したりすることができました。そして他の学校の同じ学年や他学年の人の話を聞く中で自分たちとは違う活動を行っていたりして多くの刺激を受けることができました。今回、僕は頸髄損傷の方ともそのご家族とも話をさせていただくことができました。自分の家族が事故に遭った時の気持ちや、家族が事故に遭われたことによって家族へどのような影響があったかなどを話してくださいました。これまで実際に家族の方の話を聞かせていただくことはなかったので、具体的に家族にどのような影響を与えたのか少しではあるけど感じる事ができました。そして実際に臨床に出た際に患者の家族の方と話をする機会があると思うので、その際には家族の方が今どのような心情にいるのかを考えて、会話の仕方などを考えていきたいと思いました。今回のバーベキューに参加してたくさんの人と色々な話をすることができ、色々な働き方や考え方があると感じることができ、作業療法士の学生としての視野が広がったように思いました。

兵庫医療大学 作業療学科 3回生 Y. K

先日の9月21日は、秋の大バーベキュー大会に参加させていただきまして、ありがとうございます。今回、ボランティアとして参加させていただきましたが、バーベキューや皆さんとの交流、写真撮影など、私自身も楽しんで参加させていただきました。障害を持たれる当事者の方と会話することは、私自身とても新鮮であったと感じました。私は今まで今回のようなボランティアに参加したことがないため当事者の方とお話をする機会も少なく、当日になるまで少し不安がありました。しかし、当日、「頸髄損傷について遠慮せずにどんどん質問していいよ」と気軽に言っていただいたことを、本当に嬉しく思いました。連絡会の方や、バーベキュー大会の参加された方々は明るく接して下さる方ばかりで、ある男性の方とそのヘルパーの方とお話しする機会もありました。その方は他県から参加され、私と年齢が近い方でしたが楽しくお話しをさせていただきました。国家試験を受けて、作業療法士になることについて「頑張って」と励ましの言葉を最後にかけてくださり、絶対に合格したいと思いました。

現在4年生になり就職を控え、将来の臨床の場に出る自分を想像するようになって、あらゆることから学び、吸収し、自分の力にしていきたいと考えるようになりました。今回の秋のバーベキュー大会に参加させていただき、皆様の明るく活発な姿をみて、将来私も当事者の方々の生活や生きがい、その人らしさをサポートできるような作業療法士になりたいと強く思いました。また機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

兵庫医療大学 作業療学科 4回生 O. K

今回のバーベキューでは多くの頸髄損傷の方々が参加されており、多くの方と触れ合うことができました。他にも現役の作業療法士の方、作業、理学療法士を目指している学生も参加されており、多くの話をすることができました。私はこれまでこういったことにあまり参加したことがなかったのですが、本当に参加してよかったと感じています。参加者の方たちと関わるのが本当に楽しく、嬉しく感じました。こういった行事で様々な方と関わることは本当に素晴らしいことだと思います。私はこれから対象者の方達の生活に密着し、人生を共に歩んでいけるような作業療法士になりたいと強く思います。そこでこういった行事にもっと積極的に参加していき、参加者の方達がこういった生活を送っているのか、何が生活で一番困難なのかなど、生の声を多く聞きたいと思っています。またこのような機会があれば是非、積極的に参加したいと思っています。また参加をしたときにはよろしく願います。今回はこのような行事に参加させていただき本当にありがとうございました。

兵庫医療大学 作業療学科 3回生 T. S

この度は9月21日開催の兵庫頸髄損傷者連絡会のバーベキュー大会にボランティアとして参加させていただき誠にありがとうございました。ボランティアという立場ながら頸髄損傷の方々と楽しく交流をすることができ大変貴重な体験をさせていただいたと思っています。私はバーベキューの際に9グループでお手伝いをさせていただきました。最初はうまくお話できるかと不安でしたがどの方も気さくな方で自分のハンディについてお話をしていただいたり、逆に私の専攻している分野についてお話を聞いてくださり今後の自分の進む道について不安に思っていたことが払拭できたと思います。そして大学の最終学年であり来年度からは社会人として臨床の現場に立つ身として実際にハンディを持った方々とお話させていただいたことや実際に使用されている車椅子、食事の際に使用されていた自助具や飲み物を飲む際に工夫されていることなどを間近で見させていただいたことは今後の臨床に大いに役立つことと思います。また他の大学のボランティアの方々とお話をすることができたこともとても貴重な体験であったと感じています。大学の特色でもありますが学業が多忙でありなかなか他の大学の学生との交流の場が少なく同世代の医療・福祉分野の学問を専攻している学生がどのようなことを学んでいるかを知ることが困難でしたが、他の分野の勉強をしている学生の話聞くことで新しい視野で物考えることができたと思っております。今回バーベキュー大会に参加して感じたことは環境を整えばハンディを持った方々でも仲間と楽しく過ごす時間を作ることができるということです。今回のような簡単なお手伝いで多くの方々が楽しい時間を過ごすことができるのであればこのようなボランティアに積極的に参加したいと思いました。本当にありがとうございました。

兵庫医療大学 作業療法学科 4回生 F. N

先日の9月21日につきましては、大蔵海岸でのバーベキュー大会に参加させていただきまして、ありがとうございました。頸損者とそのご家族、医療に携わる職員や学生など、多くの方々と沢山お話しする機会を得られましたことは、私にとって大変貴重な経験になりました。

私は、頸髄損傷について教科書の知識だけで、患者様にも実習で殆どお会いしたことが無く、初めは少し緊張していました。しかし、頸損者の方自身が主体となり、学生を誘導してくださる姿や、明るく生き生きとした表情と、優しい声かけをいただけたことで、私は緊張がほぐれただけでなく、私も皆様のように、誰かに元気を与えられる側として活躍したい、笑顔になれる場をつくりたい、と奮起いたしました。また、参加者の皆でバーベキューを囲み、会話と食事を楽しむ中で、多くの方々と出会い、人と関わることの楽しさと嬉しさを改めて実感しました。そして同時に心身、社会面について、まだまだ学ぶことが多いと難しさも実感しております。今回、様々な人の価値観や考え方を知り得たことで、私自身の視野を広げられたように感じます。もしも私が当事者ならば、家族ならば、医療従事者ならば、どのようにしてこの障害と付き合っていくだろうか、今この場をどんな風を感じるだろうか、というようなことを考える好機にもなりました。

私は多面的な視野をもって、患者さんが笑顔でいられる生活を、患者さんのために一生懸命になれる作業療法士になりたいと考えています。そのためにも、今回のように色々な人と時間と場を共有できる機会を、さらに大事にしていきたいと考えます。誰かににとっての一翼を担えるよう、これからも精進して参る所存です。このたびは本当にありがとうございました。この頃は急に冷え込んでまいりましたが、お体にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。末筆ですが、皆様の一層のご活躍をお祈りいたします。

兵庫医療大学 作業療法学科 4回生 U. T

先日はBBQ大会に参加させていただき、ありがとうございました。参加されていたみなさんと過ごす時間はあっという間で、本当に楽しかったです。普段は、こんなにもたくさんの人と集まって何かをすることはなく、また、頸髄損傷者のみなさんと交流させてもらうことはほとんどなかったので、本当にいい経験となりました。初めて参加してもらい、初対面の方々との交流を楽しめるかという不安からBBQが始まるまではとても緊張していました。BBQが始まり、みなさんとお話ししていくうちに自然と会話が弾み、他の場所からも笑い声が聞こえてきていました。みなさんの明るさと笑顔で私の緊張もいつの間にかほぐれ、一緒になって楽しむことができました。それだけでなく、自分たちの経験談や困っていることなどをお話ししてくださいました。今の私にとってとても刺激になることばかりで、「早く作業療法士としてたくさんの方の声に耳を傾け、自分ができることを精一杯やりたい！」と今まで以上に強く思いました。大学を卒業してから、試験に通過できず働けない自分に焦りと不安で悩んでいたのですが、いつまでも悩んでいる暇はないと前向きに思わせていただく良い機会にもなりました。また来年、参加させていただけるのであれば、次こそは必ず作業療法士のたまごではなく作業療法士として参加させてもらいたいと思っています。よろしくお祈りします。本当に素敵な時間を一緒に過ごさせていただきありがとうございました。

兵庫医療大学 作業療法学科 卒業生 N. M

頸髄損者連絡会BBQ大会には初めて参加させて頂きました。班に分かれて、私は肉を焼いていたのですが、時々、会員の方が来てくださり話をしたり、同じボランティアの学生と交流をしたりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回参加させて頂いて一番印象的だったのが、同じ班で頸髄損者連絡会に初参加の当事者の方が「僕は頑張ったら歩ける！」と言われ、実際に一歩、二歩、歩かれたときはすごく感動しました。今回は参加させて頂きありがとうございました。

兵庫県立大学 4回生 H

今回、初めてバーベキュー大会に参加させていただきました。私は、頸損の方達と関わる機会が無いため少し緊張していましたが、楽しくお話がすることができました。また、頸損の方達だけではなく、介助者の方が実際にどのような介助をされているかなどのお話を聞くことができ、他のボランティアの方達や、学生さん達とお互いの学校生活の話を交えた食事をして、たくさん交流することができました。この度は、普段では経験できないような貴重な時間をありがとうございました。

兵庫県立大学 3回生 O

この度は秋のバーベキュー大会に参加させていただきありがとうございました。大学4回生にして初の参加で、皆さんとどのように接して良いのかわからなかったのですが、いざ参加してみると皆さん気さくな方ばかりで、頸髄損傷者の方や介助者の方、また他大学の学生の方とフランクに話すことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。この経験を糧にして、私ももっといろんな方と話してみたいと思いました。

兵庫県立大学 4回生 M

バーベキュー大会は、去年も参加させていただいたので2回目の参加でした。相変わらずの頸髄損傷者の方々の活動的で元気な姿に圧倒されつつも、私も一緒に楽しむことができました。また、私とは違った視点での大人の意見を聞くことができるので、とても勉強になりました。頸髄損傷者の方々や他大学のボランティアの方々とたくさんお話をしたり、美味しい食事をしたりして、有意義な時間が過ごせたと思います。ありがとうございました。

兵庫県立大学 4回生 O

## 会員報告

## 第 41 回 国際福祉機器展 H. C. R2014 報告

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田 浩敬

こんにちは。

兵庫頸髄損傷者連絡会の土田浩敬です。

第 41 回 国際福祉機器展 H. C. R2014 報告をさせていただきます。

毎年、開かれているアジア最大級の福祉機器展に、今回初めて参加させて頂きました。会場は東京ビッグサイト、沢山のひとと出展されている企業のブース、とてつもなく広い会場。色々な事に圧倒されつつ入場しました。



**国際福祉機器展の会場、東京ビッグサイト**

さて、何処から見て行けば良いのか…というのが入場してからの第一印象です。とりあえず、端から全て見て行きました。福祉車両から介護リフターといった日常的に利用する物から、飲み込んでも無害の歯磨き粉やおしゃれなレインコートといった便利グッズ、外国製の電動車椅子と、ありとあらゆる物がありました。

中でもとても興味があったのは、介護者用ロボットスーツでした。エアコンプレッサーを活用し、小さな力で重い物を持つ事が出来ると言う物です。（テレビ等でご覧になられた事がある方もいらっしゃるのでは）上手く活用するには、ある程度の練習が必要と思ったのと、これから先、もっと改良されて行くのだろうかと思いました。近

い将来、ロボットスーツのような、SF 映画の中での話が、現実になってくるのでしょうか。他にも介護リフターと福祉車両が合体した車があり、車両の横からリフターのアームが伸びて、そこで身体をつり上げて車の中へ入り込むと言った物でした。車の中では普通に座席に座ります。私の中では車に乗る時は、車椅子ごと乗り込む物だと思っていたので、その車を見た時は、衝撃でした。



**リフター付き福祉車両**

このように、普段見る事が出来ない様な福祉機器や福祉用具、福祉車両を沢山見て回る事が出来ました。今回初めて国際福祉機器展に参加させて頂いて、まだまだ未来の話と思っていた“ロボットスーツ”や、個人的な意見ですが“リフター付き福祉車両”のように、こんなものが実際あれば良いのに…と思う物が現実にあって、楽しくもあり勉強になりました。テレビや雑誌で見るとは全然違って、詳しい構造を生で見ることが出来、福祉用具や福祉機器を体験する事も出来ます。今回私が体験して来た事を、みなさんと共有したいと思うとともに、もし機会があれば、このような福祉機器や福祉用具を実際に見て体験してみてもは如何でしょうか。

## 会員報告

### 人工呼吸器使用者情報交換から見てきたこと

米田 進一

今思えば、「我々の様な人工呼吸器を使用しながら活動をされている頸損者はどれ位いるのか？」とふと思うことがあります。私が受傷して9年5ヶ月余りが過ぎ、沢山の人工呼吸器を使用して活動されている方々と知り合う事が出来ました。その中でも数名の方は残念ながら先立たれ、悲しい出来事も起こり、また新たな出逢いもあり、充実感も多くありました。現在関西で三名の人工呼吸器使用者の仲間と、3～4ヶ月に一度のペースで情報交換会を行っています。今回久々に情報交換会の集まりの時に様々な議題を話し合った内容を下に、我々が困惑している事を知って頂きたいと思い、寄稿させて頂きたいと思います。



(情報交換の様子)

いつもは各自近況報告を行い、毎回同じ内容では進化がないので、同じ境遇の呼吸器を使用している、生活の中で困っていることは何かと挙げると、一番に挙がるのはヘルパーさんが続かなくなり、人員の確保が難しいことがあるということです。理由として「簡単にボランティアやヘルパーさん等が集まらない、都会の真ん中に住んでいる事で、利便性の高い地域、企業や大学などが集中している地域なら簡単かもしれないが、そうじゃない所では難しい、呼吸器を付けていると、更にハードルが上がり、経済的な事も含め、人はそれぞれ状況が異なるので、その事を熟考して欲しい」等々、理由は人それぞれです。

更には呼吸器のバッテリーの持続時間が、湿気や夏場の様な気温の変化等で急にアラームが鳴り出し、いざという時に充電ができる場所を探さなくてはいけないということがあるため、外出を控えるという事も、メンバーの中では困惑している点であるということが挙がりました。簡単に外出したくても、当事者によっては出られないという問題があり、遠方のイベントに参加したくても出来ないという事から、今後の課題点として解決できるような情報を提供し合い、違った活動もしていきたいとメンバー全員が思っているところです。

情報交換ばかりではなく、年に1～2回は会議形式だけではなく、柔軟な発想で、自分達が楽しめることも、取り入れていきたいと考えています。例えば、日帰り旅行や食事会、他府県在住の人工呼吸器使用者と連携できる交流会等、様々な視野を広げて大きなイベントが実現できればと考えています。これからの課題として頸損連の方々やヘルパー事業所等関わりがある関係者様に、色々なアドバイスを頂ければ幸いです。ご協力の程宜しく申し上げます。

## 会員報告 頸損チンコンひとり股旅 日本を歩くー福岡編ー

### もつもとんこつもうまかっちゃん!年末満腹グルメツアー・前編

※2011年原稿の再掲載です。

宮野 秀樹

旅行記を書くのはいつ以来だろうか。ともかく「自由に書いて良いですよ」という担当者のリクエストにお応えして、久しぶりに宮野チックな乱文で攻めてみたいと思う。題して「頸損チンコンひとり股旅」。おそらく今後もシリーズ化しそうなので長く続けられるようなタイトルにしてみました。どうぞお付き合いください。

昨年の8月に元介助者2名が私を訪ねてくれたのがきっかけ。私が暮らす地域にある大学で大学院生だった頃に私の一人暮らしを支えてくれた2人も、現在は立派な社会人として支援対象を児童・高校生に変えて教育現場で働いている。訪ねてきてくれた嬉しさと懐かしさからMAXハイテンションで近況報告。宮野さんから生きる強さや命の大切さを学んだことを活かして子供たちに教えていますよ、といった素晴らしい話は全く出ず、2人とも持ち前の明るさと人一倍の努力で生徒たちからの信頼を得られている様子を聞いた。「フッフ、君たちも成長したよな…」と切ない気持ちを隠して心の中で強がってみた。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、オジサンの思い出話に飽きた元介助者の一人が「宮野さん、一度福岡に遊びに来てくださいよ!」と社交辞令だったので、すかさずオジサンは「行く。いつ行けばいい?」と社交辞令返しで応戦した。「年末だと授業も終わるので、その頃に来ませんか?」と元介助者。「私も行く!」ともう一人。「うん、いいよ。」そんなワケであっさりと年末に福岡は博多で再会することを約束して解散した。

#### ハプニングからの始まり

やられたよ。出だしからこれかよ…。新幹線の時間は10時台だったので、比較的ゆっくりと家を出た。路面の凍結もなく無事に新神戸駅に到着。ANA クラウンプラザホテル神戸のタイムズ駐車場(平日1日最大料金1,600円)に余裕で駐車。「お

いおい、そんなに小走りにならなくても十分時間に間に合うよ。」と初福岡にテンションが上がり気味の現介助者を微笑ましく見つめながら…と行きたかったが実際はリミットギリギリの駆け込みセーフ。「お弁当買えて良かったよねえ」と介助者と話しながら改札で駅員を呼ぼうとすると、どうも当たりの様子がおかしく、みんな電光掲示板を見上げている。「浜松駅ー新大阪間徐行運転中」との表示。駅員の説明によると、朝、岐阜県関ヶ原町の東海道新幹線の架線に雪の影響で周辺の木が倒れかかり、岐阜羽島ー米原間で停電が発生、一時運転を見合わせたため大幅にダイヤが乱れているとのこと。倒木を除去後も、雪による徐行運転のため、私が乗る予定の列車は約1時間半遅れる見通し。「ご迷惑おかけして申し訳ございません。お待ちいただけますか。」と駅員。やられたよ。出だしからこれかよ…。

#### サクラがノゾミ

何もすることなく荷物を下ろして待機する。博多駅で待っていてくれるMさんとYさん(元介助者)に遅れることを連絡。Yさんは新大阪から乗ったけれど、なんとか運転見合わせトラブルに巻き込まれることなく順調に博多に近づいているとハッピーな絵文字たっぷり連絡してきた。ちょっとムカつく。普段の行いは良いはずなのに。

待機している場所に駅員さんが小走りで近づいてきた。「お待たせしました。もうすぐ到着しますよ!」嬉しそうに言ってくれるが、1時間半以上待たされたら、そんなにこやかには笑えない。いや、笑ってあげない。改札を通るとき、「お待たせしました。行ってらっしゃいませ。」と普段は言うはずもないセリフを言ってくれた女性駅員さんが“思った以上に”可愛かったので、「はい、行ってきます!」と元気に応えてしまったのは男の性か。ともかくN700系の多目的室に乗り込み。Let's go to HAKATA! 待ってろよ、中州!

と気持ちが高ぶったところに水を差すような介助者からの問いが、「なぜ“さくら”にしなかったんですか？新しいモノ好きなのに…」そうなんですよ…忘れてたんですよ。多目的室にしばらく沈黙が続いた…。

### ひとり股旅ー九州上陸ー

博多駅なう。2時間20分は意外と早かった。エレベーターを上がって改札に向かうと改札越しにMさんとYさんの姿が。16時にしてようやく合流できた。「チェックインしに行きましょう！」とMさんの言葉で駅ビル内を移動。ところが以前見た駅ビルとは感じが全く違う。メチャクチャ綺麗になっている。そういえば「JR博多シティ」という新駅ビルになったとテレビで見た覚えがある。見たところ凄い数のテナントが入っているようで人が溢れかえっていた。



#### JR博多シティのイルミネーション（わかりにくい）

今旅で2泊する「ホテル日航福岡」に到着。駅から近い！徒歩3分。部屋も綺麗で広く、ポーターが荷物を運んでくれる良いホテルです。そして格安ときたら申し分ナシ！ゆったりできそう。部屋に荷物を置いたら早速付近の散策に出かける。といいながら、数分後にはキャナルシティ博多のタリーズコーヒーでカプチーノを飲んでいた。ここでMさんの友人で私に会いたいという作業療法士志望のKさんが合流するとのことで待ち合わせ。モテる男は辛いよ。博多の女は情が厚いので惚れられたら困るよな。いや、でもやはり男としてはちゃんと受け入れないといけないよな…と確実にそうはならない孤独な妄想と闘ってみた。Kさんと普通に挨拶を交わし、普通に夕食

の目的地に向かうことになった。

目的地への道すがらMさんが「山笠見ていきませんか？」と博多祇園山笠の総鎮守・櫛田神社に寄り道してくれた。神社の境内に観光客に公開されている“飾り山笠”。約10メートルはあるその大きさと煌びやかな飾り付けに思わず目を奪われた。勇壮というべきか、圧倒されてしまった。



博多の「博」の字が私の頭の大きさくらい

見てもわからないが、写真は飾り山・表で真田昌幸・幸村親子を題材にした「智将疾風関ヶ原」。福岡を訪問した際には是非ご覧あれ！（そういえば2012年のリハ工学カンファレンスは確か博多は天神で開催される予定だったと思います。参加すれば山笠を見られますね。いや～チャンスです。<http://www.resja.gr.jp/conf-27/>)

### チンコン meets もつ

さて、やっと1日目のメインイベント「宮野もつ鍋を喰らう」です。挑戦者はMさんのご実家の近くにあるもつ鍋専門店「もつ幸」<http://www4.ocn.ne.jp/~motsukou/> 酢醤油で食べるという一風変わったもつ鍋ではあるが、これがまた絶品。新鮮な国産牛のもつとキャベツ、ニラ、ニンニクスライス、ギョーザの皮を混ぜ込んで鶏ガラベー

スのスープで炊いたスーパーデリシャスあっさり鍋に箸が止まらない（箸は持てませんが…）。サイドメニューの一口焼きギョーザやレ〇刺しも絶品。ギョーザの皮がトロツとして何気に美味しい！とにかく焼酎湯割がガンガン進む。そして極めつきはシメの「ちゃんぼんめん」。スープがなくなるまで麺を煮て、仕上げに白ゴマを入れる。具材の旨味が凝縮されたスープを吸った麺と白ゴマが絡んでグレートな“ゴマ麺”が完成する。一度食べてみんしゃい！このゴマ麺食ったらもうどうでもよかるうもん！って感じになるよ！ってよくわからない表現になっていますが、それくらい美味しいってことです。福岡を訪問した際には是非ご賞味あれ！（そういえば 2012 年のリハ工学カンファレンスは確か博多は天神で開催される予定だったと思います。参加すればもつ幸のもつ鍋を食べられますね。いや～チャンスです。  
<http://www.resja.gr.jp/conf-27/>



これがもつ鍋、ギョーザ、レ〇刺しの3種の神食



これがウマウマスープを吸い込んだ究極のゴマ麺

## とんこつ COLOR

「いや～食べた食べた、もう食えんわ。」ともつ幸をご機嫌さんで後にする。酔いを覚まししながらホテルにでも戻るかあ、と動き出した私の肩越しに悪魔のささやきが…「中州に行きませんか♡」えーい、博多に来た目的はそれだろうが！行くに決まってんじゃねえかよ！でも初日だぜ？さすがに初日から食べまくりはよくないんじゃない？やはりここはグッと抑えて明日に備えようや。でもちょっとくらいならいいかな。もう少しビールを飲みたいし…「もう帰りますか？」とMさんの問いに、「行く。」と即答する中年男であった。

さすがに年末は博多も寒い。ほろ酔い気分で祇園から国体道路を進んでいくと中州が広がっている。Mさんに那珂川沿いに並ぶ屋台を案内してもらい中州の夜の雰囲気味わってみた。そこから我々が向かったのは春吉橋の西中洲側のたもとにある「屋台・風来坊」。優しそうな兄ちゃん（店主？）が、わざわざ電動車いすが入られるようスペースを作ってくれる感じの良い屋台。入ってすぐにビールと豚足を注文。う～ん、美味い！博多風豚足、塩焼きでポン酢をかけて食べるのが定番らしい。ビールに合う。さて、いよいよ本当の目的「とんこつラーメン」の注文。屋台で食べるのが夢だった。軽く深呼吸して、胸の鼓動を抑える。決して素人だとは思われたくないという緊張感を、無理に笑顔で隠しながら声にしてみた。「ラーメンちょうだい！」兄ちゃんが微笑んだ。とんこつから始まるのがたくさんあるんだよ。



シンプルだが深い味。これそとんこつです残念ながら今号はここまで。満腹の宮野はどうなるのか？！続きは次号でお楽しみください。

## 会員報告 頸損チンコンひとり股旅 日本を歩くー福岡編ー

### もつもとんこつもうまかっちゃん!年末満腹グルメツアー・後編

※2011年原稿の再掲載です。

宮野 秀樹

#### 【前回までのあらすじ】

久しぶりのプライベート旅行を楽しむ宮野御一行。雪のせいで新幹線が遅れるというトラブルに遭うも旅にハプニングはつきもの。博多の夜に吠えた純情頸損・宮野のチンコンひとり股旅はどうなるのか?! 中州の屋台でとんこつラーメンにご満悦の続きをどうぞ!



#### 熱くて寂しい夜

酔っていた。明らかに酔っていた。屋台からの帰り道、真冬で寒いはずなのに博多の街は熱かった。いや私の身体が熱かった。「あれだよ、焼豚足とビール。あいつらがダメ押ししたんだよ!」と調子に乗った自分を棚に上げ、博多のグルメに罪をなすりつけた。

「明日の朝、迎えに来ますね。」ホテル前まで送ってくれたMさんYさんと別れた。「よし、明日も一日中遊ぶから今日はもう寝るぞ!」と部屋に戻るとすぐに就寝準備。「いや〜、もつ鍋もとんこつラーメンも美味しかったよねー。」とご機嫌さんでベッドに移され、睡眠時無呼吸症候群治療用のCPAP鼻マスクを装着されて深い眠りへ…のハズだったが何かおかしい。身体が熱くてすぐに目が覚める。「布団めくって…」「手足のストレッチを…」とこもった熱を逃がすために何度も

介助者を起こした。申し訳なくて「ごめんな。なんかわからんけど、今日はちょっと調子悪いわ。」と詫びると、半分寝ぼけたような顔でボソリと介助者がつぶやいた。「ラーメンの汁、全部飲むからですよ…」それは言っちゃダメだよ。わかっているよ。わかっているんだけど、核心を衝かれたらオジちゃんは笑って誤魔化すことしかできないじゃないかい。とんこつスープに飲まれた夜。熱くて寂しい夜。

#### 唐津より愛を込めて

ようやく眠りに就いたと思ったらもう朝。介助者はすでに起きて身支度を終えていた。「もう起きますか?」と問われたので「あんまり寝てないからしんどいよ…」と返すと、ハッキリと聞こえる元気な声で「ラーメンの汁、全部飲むからですよ!」と一撃を食らった。朝から死ぬかと思った。「いや…めっちゃ美味かったやん。兄ちゃん優しいかったし…」弱々しくよくわからない言い訳をしていると、Mさんたちが迎えに来るからと半強制的に車いすに乗せられてしまった。大人が言い訳しているのに聞いてくれないとは何てキュートな介助者なんだろう。

雪で新幹線が遅れたほどのどんよりとした暗い空であった昨日がウソのように今日は快晴。やはり私の普段の行いが良いことが証明されてしまった。ホテルのロビーでMさんたちと合流。今日はMさんの旦那さんに運転してもらって佐賀県唐津市まで足を延ばす。目的地は「呼子(よぶこ)」。イカを食べに行くらしい。レンタカーに乗り込みいざ出発。福岡都市高速道路→福岡前原道路→今宿バイパス→二丈浜玉道路→唐津バイパスと距離にして約51km、1時間ほどの移動で唐津市に到着した。と書けばどこを通過して行ったか鮮明に覚えているように感じられるが、旦那さんの安定した運転技術と心地良いお日様の光で、道中の9割は夢の中であったように思う。

呼子に向かう前に宮野の密かな趣味である“お城巡り”をするために「唐津城」に立ち寄ってもらった。唐津城は、唐津湾に面した満島山に建てられた連郭式平山城であり、唐津湾沿岸に広がる日本三大松原のひとつ「虹の松原」の弧状に続いた5kmに渡るクロマツ林が、城を頭に見立てると鶴が翼を広げているように見えることから“舞鶴城”の別名で呼ばれるらしい。天守閣は元々なかった（天守閣があったという資料が存在しない）ようであるが、あったと想定して復元された模擬天守が据えられている。でも格好良いんだよな！



駐車場から見る唐津城

本当なら城内への石段を登って上がりたいが、電動車いすではさすがに無理。斜行エレベーターを利用して城へ上ることにした。ちなみに身障者手帳提示で介助者ともに無料。

エレベーターを降りていきなり得体の知れない物体に遭遇。唐津の最強ゆるキャラ“唐ワンくん”だ。笑っているのか悲しいのかわからないその感情のない表情がとても素敵なキャラだ。



虚ろな目で出迎えてくれた唐ワンくん

ちなみにハマっていることは“なわとび”らしい。さておき、それにしても遙か玄界灘が広がる中に高島が浮かぶ眺望は私の汚れきった心を洗い流してくれる。思わずいやらしい笑みがこぼれる。



後方に見えるのが高島だ（イエーイ）

天守閣はエレベーターがなかったので上がれなかったが十分に楽しめた。やはり城はイイ！



天守閣をバックに記念撮影

### ひとり股旅ー呼子便り・イカ実況ー

もう満足だったが、お昼になったので呼子へ移動することになった。唐津港を眺めながら30分も走るともう呼子町に着いてしまった。目的地は「呼子台場みなとプラザ」に隣接する「いか活き造りの店・河太郎」<http://www.kawatarou.com/> バリアフリーではないが電動車いすも問題なく入ることができる。お店が配慮してくれて個室を用意してくれた。店内にいけすがありイカが泳いでいる。いつでも新鮮なものを提供してくれるのだろう。昨日のもつ鍋ととんこつラーメンの影響

でお腹は減っていなかったが、せっかく来たのだからと「いか活き造り定食」を人数分注文。しばらくすると舟盛りに乗った“ヤツ”がやって来た。



伝わるだろうか？このボリュームが！透明感が！あえて言おう。みなさん…いや、これを読んでいるお前ら！絶対食ったほうがイイ！いや、食べ！見たこともない透明感に目を奪われ、味わったことのある新鮮なイカのそのどれをも上回る食感と味。ハンパないコリコリ感と磯の風味が強すぎず淡泊だけどそれでいて甘い。大味必淡とはこういうことなんだよな。シンプルだけど最強。そのものが美味しいというのはそれだけで感動する。「いか活き造り」「いかしゅうまい」「小鉢」「御飯・味噌汁」「デザート」が定食の内容。季節やその日の水揚げによってイカの種類が変わるそうで、剣先イカの活き造りが美味らしい。私たちが食べたのはヤリイカとアオリイカだった。動いているゲソをハサミで切って躍り食い。ピリピリ舌の上で最後の抵抗している様はイカダンス！コリコリ噛んでイマとどめサス！Say Yeah!



残酷なようだがこれが絶品！イカも本望？

活き造りをしこたま食べても食べきれないので、残った活き造りを天ぷらと塩焼きにしてもらった。「おいおい、もう食えんやろ…(笑)」と出てきたらご馳走さまをするつもりだったが、なんのなんの唸りましたわ！メチャクチャ美味い！サクサク感ハンパない香ばしい天ぷら、ぷりぷり感この上なく搾ったレモンと塩味が絶妙の風味を醸し出しているゲソの塩焼き。もうイカ天、いや昇天。そんなこんなで呼子のイカを心ゆくまで堪能しました。もし佐賀県唐津市へお立ち寄りの際は呼子町まで足を延ばして絶品のいか活き造りをご賞味あれ！（そういえば 2012 年のリハ工学カンファレンスは確か博多は天神で開催される予定だったと思います。実は中州にも河太郎の支店がありますよ。参加すれば最強のいか活き造りが食べられますね。いや～本当にチャンスですね。<http://www.resja.gr.jp/conf-27/>)



港町に回転イカ干物機。風情があるね。



イカ踊り町・呼子。映画「悪人」で港町がロケに使われたらしい。妻夫木くんもイカ食べたのかなあ。

## ひとり股旅ー菅原道真に会うー

昨日は、大変だった。ホテルに帰ってきてから自由行動をしようとしたが、呼子でのMAXハイテンションが影響してお疲れモードで動けなかった。夕食に出かけたものの予約を忘れていたため、2時間待ちの満席状態にお手上げ。楽しみにしていた水炊きを仕方なく鹿児島黒豚しゃぶしゃぶに変更。唯一救いだったのはメニューに「しゃぶる」と書いてあったので、可愛い店員さんに「やっぱ、しゃぶるのが美味いんですね？」と聞いたら「はい♡」と笑顔で答えてくれたこと。調子に乗って3回も聞いてしまった。…良い夜だった。

最終日は、姪っ子の高校受験合格祈願に太宰府天満宮へ参拝に。地下鉄で天神まで行き、西鉄電車に乗り替え。西鉄福岡(天神)駅から太宰府駅へ。総移動時間40分くらいで行くことができた。駅から徒歩5分で太宰府天満宮に到着。案内所を抜けるとすぐに御神牛が出迎えてくれる。道真公が乙丑年生まれであることに由来して、境内至るところに奉納されている。私も牡牛座なので嬉しい。御神牛の頭を撫でると頭が良くなるとのこと。



道真公の亡骸を運んだ際、牛が伏して動かなくなったそこから進むと太鼓橋が現れる。そしてここから先はさだまさしの「飛梅」の歌詞にあるスポットが多いので次第にテンションが上がる。まずは「心字池」。心の形をした池に御神橋として架けられる3つの橋は、それぞれ過去・現在・未来を表しているらしく、渡ることによって身が清められるらしい。この橋も歌に出てくる。よっしゃ渡るぞ！と進み始めると慌てて介助者が止めに入った。誰が見ても渡るのが無理なのは明確であるが、ひとボケしようとお茶目に振る舞ってみたの

だが、神様の前でボケるのはいかなものかと20歳の娘に40歳のオジサンが真剣に怒られてしまった。…申し訳ございません。もうしません。



太鼓橋・平橋・太鼓橋の三橋で構成される御神橋  
霊峰宝満山より切り出された巨大な一枚岩で作られた清め場である手水舎で手と口を清め、楼門をくぐると国の重要文化財に指定された桃山時代の豪壮華麗な様式を見事に伝える御本殿が姿を現す。御本殿の右横に曲名になっている「飛梅」がある。冬なので葉っぱ1つ無い状態だが、「あなたももしも遠くへ行ってしまったら、私も一夜で飛んでゆくと云った」という詩が頭に浮かぶ。京都から道真公を追って飛んできたという御神木「飛梅」。いつか咲いている姿を見たいものだ。…ってセンチメンタルになってる場合じゃねえ！大事なミッションを遂行せねばならぬのだ。100円という大枚をはたいて、二拝二拍手一拝で願をかけた。「本当に頼みます、何卒お願い申し上げます道真公！」と全くふざけずに頼み込んだ。



神様の前での記念写真もどうかと思うけど…

「=そちの願い、しかと聞き届けた=」道真公の  
声が聞こえたような気がした。

「一番効くお守りちょうだい！」と関西のノリ  
で巫女のおねーちゃんを困らせながら、お守りと  
学業成就えんぴつを購入。これで絶対合格だ！と  
太宰府天満宮を後にする。帰りの参道で茶房ぎゃ  
らりー「かさの家」に寄り、またまた「飛梅」の  
歌に出てくる太宰府名物「梅ヶ枝餅」をお抹茶と  
一緒にいただいた。焼いた餅の香ばしさとあんこ  
の甘さがベストマッチ。太宰府では是非味わいた  
い一品。間違いなく美味しい！



梅の枝に刺して差し入れられたエピソードが名前の由来

### さすらいは終わらない

太宰府を後に博多へ戻る。帰りの西鉄電車は、  
充実した2泊3日を過ごした街を離れる名残惜し  
さを感じ取ったかのようにゆっくりと進んでく  
れた。ホテルに預けていた荷物を受け取り、こ  
こでこの旅をコーディネートしてくれたMさんとお  
別れ。またの再会を約束した。

JR 博多シティにてお土産を購入することに。そ  
れにしても駅ビルは充実している。2日目の夜に  
食べた黒豚しゃぶしゃぶの「いちにいさん」もこ  
の駅ビル10階フロア(9階も)「ダイニングシ  
ティくうてん」という全国の“美味しいもん”が集ま  
るグルメフロアの中の一店。B1F~2FはDEITOS(デ  
イトス)という博多のおみやげ、九州のおススメ  
のいっぴん、グルメからなんでも揃っている商業  
施設になっている。1Fの「みやげもん市場」に行  
けば、福岡のお土産はほぼパーフェクトに揃うだ  
ろう。私もここで定番ではあるが、誰もが喜ぶで  
あろうお土産、辛子明太子の老舗「ふくや」で超

美味しい「辛子明太子」と明月堂の「博多通りもん」  
を購入。この2つは絶対に外しません。

あまりにも数多くの土産でフロアが溢れかえ  
っているため、目移りするためお土産選びはひと  
まず終了。「思い残すことはないね？」と介助者  
に確認して、新幹線乗り場で休憩しようと改札内  
に入り2階コンコースへ。そこで「野の葡萄・博  
多菜彩 DELI」というショップを発見。店の前には  
「自家製カレー」の美味しそうな看板が。入っ  
てみると地元食材を使用したお弁当や、焼きたてパ  
ン、サンドウィッチ、自家製食品など新幹線で食  
べるのに最適なものばかりが置いてある。その中  
から「特選・辛子明太弁当」なるものを選んだ。  
ごはんの上にびっしりと高菜が敷き詰められ、真  
ん中に海苔を敷き布団にボデンと極太辛子明太  
子が横たわっている。卵焼きやひじきの五目煮と  
いった自家製の惣菜が添えられてボリューム満  
点の内容。これはヤバかった！美味すぎ。旅の最  
後まで福岡の“食”にガッツリ胃袋が満たされて  
しまった。恐るべし、グルメエンターテイメント  
王国・福岡県。当然、食べた後は神戸に着くまで  
眠ったままであった。またさすらいに来るよ！



写真では伝わりにくいですが辛子明太子が本当にデカイ！

今年の8月23~25日(木~土)に天神にある  
アクロス福岡という会場で第27回リハ工学カン  
ファレンスが開催される。私は、第一志望校へ姪  
っ子を合格させてくれた菅原道真公にお礼をい  
うためにも参加する。天神近くにある呼子のイカ  
を食べさせてくれる料亭をMさんから数店聞いて  
いるので必ず行くだろう。もし参加されるのであ  
れば今年の夏は福岡でお会いしましょう！

<http://www.resja.gr.jp/conf-27/>

## <行事のお知らせ>

日 時	内 容
12/13 (土)	忘年会 兵庫支部主催
1/18 (日)	新年会 大阪支部主催
3/21 (土)	第4回合同シンポジウム「一緒にやろうや!住」
開催時期 未定	頸損祭

今年をシメくくるのは、やっぱ兵庫頸損連絡会の忘年会でしょう！  
新しい年を迎えるべく、思い残すことなく今年を食べつくせ!!

日時：2014年12月13日(土) 受付：11:30～12:00 開始：12:30～16:00  
場所：天府真味(てんぷしんみ) 兵庫県明石市東仲ノ町6-1 アスピア明石北館 3F  
JR/山陽利用 ■JR・山陽明石駅から徒歩数分 ■山陽明石駅から210m  
電話(店)：TEL078(915)2108

久しぶりに会う友人と語らい、新しい仲間とふれあい、  
軽食とドリンクで潤い、余興で楽しく、ゲームでお土産ゲットしよ  
う！

日時：2015年1月18日(土) 受付：11:00 開始：11:30～16:30  
場所：大阪市長居障害者スポーツセンター2階・1、2、3会議室大阪市長住吉区長居公園1-32  
TEL06(6697)8681 地下鉄/市バス/JR利用  
■地下鉄御堂筋線「長居」駅1号出入口から北へ約140m  
■市バス地下鉄長居から北へ約310m ■JR 阪和線「長居」駅東口から東へ約170m

全国頸髄損傷者連絡会&(一社)日本リハビリテーション工学協会

第4回合同シンポジウム「一緒にやろうや!住」

我々の生活に快適をもたらす「住宅改修」がテーマです

主催：全国頸髄損傷者連絡会、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
日時：2015年3月21日(土・祝) 13:00～16:30

会場：川村義肢株式会社本社(予定)

# 兵庫頸髄損傷者連絡会 入会案内

兵庫頸髄損傷者連絡会は、兵庫県及びその近郊に在住する頸髄損傷者（以下、「頸損者」と略す）及びそれに準ずる肢体不自由者の生活を明るく豊かなものにするために、日常的な、しかし最も基本的な「介助」や「移動手段の確保」といった問題を出発点として、重度身障者がこの社会の中で、いかにすれば自立性を失わない、真に人間的な生活を送れるかについて、会員及びそれを取りまく人々と共に考え、実現することを目的とし達成する為に次の事業をおこなっています。

## (1) 頸損者の生活条件整備のための広範な活動

- ・自治体などの要望活動
- ・街づくりや公共交通機関などの調査
- ・生活関連情報の収集研究
- ・宿泊訓練
- ・その他学習会や交流会

## (2) 機関誌の発行、必要文献の提供

- ・「頸損だより」「事務局通信」の発行
- ・ビデオや文献の貸し出し、配布

## (3) 交流を深めるための集い、レクリエーション

- ・街に出よう
- ・運動会
- ・忘年会
- ・その他、見学会、交流会

## 本会の会員は

- ・兵庫県に在住、または県外在住でも入会をされた頸損者（正会員）
  - ・会の活動を手伝ってくださる方々（協力会員、ボランティア）
  - ・それ以外の地域在住で機関誌の購読を希望する方々（購読会員）
- などで構成されています。また、本会正会員になることで自動的に全国頸髄損傷者連絡会（本部：東京）の会員になります。

※入会、協力、購読を希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。  
入会申込書をFAXか郵送いたします。ホームページからの入会も可能です。

**★カンパも受け付けています★**  
**兵庫頸髄損傷者連絡会の活動に是非ご協力ください。**

## 振込先

郵便振替口座：00990—8—265974

口座振込名義：「兵庫頸髄損傷者連絡会」

ゆうちょ銀行 ○九九店 当座預金 口座番号0265974

振込名義：ヒヨウゴケイズイソシヨウシヤレンラクカイ

三菱東京UFJ銀行 明石支店 普通預金 口座番号4787703

振込名義：兵庫頸髄損傷者連絡会 会長 三戸呂克美

## 兵庫頸髄損傷者連絡会 事務局（臨時窓口）

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ 88 305B

特定非営利活動法人ぽしぶる内

TEL 079-553-6400 FAX 079-553-6401

E-mail : hkeison@yahoo.co.jp HP : <http://hkeison.net/>

## 頸髄損傷って何？

人間の身体には、首から腰の辺りにかけて背骨といわれる太い骨があります。その背骨の中には「脊髄(せきずい)」と呼ばれる太い神経の束が通っていて、この脊髄は手や足を動かして運動したり、「暑い・寒い」や「痛い」などを感じたりする神経などがたくさん集まっており、すべて脳につながっています。この神経はとても大事なもので、1本でも切れたりすると手が動かなくなったり、足が動かなくなったりします。中でも脳に最も近い部分の神経のことを「頸髄(けいずい)」と呼び、その神経を損傷してしまうことを「頸髄損傷」と呼びます。その頸髄神経が切れてしまうと人間の体は大変なことになります。体が動かないことに加えて、温度を感じることができなくなり「暑い」「寒い」がわからなくなって「体温調節」をすることができなくなります。汗もかかなくなり、体の中に熱がこもります。痛みなども感じなくなるので、ジツとしていると体の一部が圧迫され、その部分に「褥創(じょくそう)」と呼ばれる、皮膚や肉が死んで穴が空く状態になり、放っておくと死に至る可能性もあります。

そして、頸髄損傷には損傷を受けた部位によって「やれること」「動く部分」の範囲が変わってくるという特長があります。首から下が動かない人もいれば、車椅子を自分でこぐことができる人もいます。自動車を運転できる人までいるんです。頸髄損傷といってもその症状は千差万別で、“全く同じ状態の人”を探すのは困難なのです。

もし今後、頸髄損傷の人の介助をすることがあったなら、まずその人に身体の状態を聞いてみてから、適切な介助を心懸けることが望まれます。まずは聞くことが第一です。大抵の人は身体の状態を教えてくださいますよ。

## ～編集後記～

2011年11月、足に血栓ができてから頸損連の活動に全くと言っていいほど参加していませんでした。気にはなるものの時間が経つほど躊躇していました。そんな“モヤモヤ”した気持ちが晴れたのが今年のバーベキュー大会参加でした。2014年バーベキュー大会をきっかけに「一緒に活動しましょうよ」と温かく声をかけて下さった仲間のおかげで、機関誌「縦横夢人」の発行に携わることができて良かったと思います。今後も頸損連の活動に参加していきたいと思っています。(T.Y)

### 個人情報保護についての当会の方針

当会では、会員の皆様の個人情報の取り扱いにあたりましては、個人情報が個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、権利利益を保護するために、最善の配慮を行っております。

『縦横夢人』2014 冬号(NO.06)

2014.12.1.

編集者：兵庫頸髄損傷者連絡会

編集責任者：兵庫頸髄損傷者連絡会 編集部長 木戸功

本部：〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通2丁目3-5-1-205(三戸呂方)

TEL&FAX：078-934-6450

臨時 窓口：〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1

フローラ88 305B 特定非営利活動法人ほしぶる内

TEL：079-553-6400 FAX：079-553-6401

※無断転載・複製を禁じます。 HYOGO ASSOCIATION OF QUADRPLEGICS